

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公表番号】特表2010-502193(P2010-502193A)
 【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)
 【年通号数】公開・登録公報2010-004
 【出願番号】特願2009-526926(P2009-526926)
 【国際特許分類】

A 0 1 H 1/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

A 0 1 H 1/00 A

C 1 2 N 5/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月30日(2010.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トランスジェニック・トウモロコシ植物を作製する方法であって、

a) 形質転換可能なトウモロコシ外植片を得；

b) 該形質転換可能なトウモロコシ外植片を形質転換し；

c) 選択培地上で、該形質転換可能なトウモロコシ外植片から形質転換したトウモロコシ細胞を選抜し；ついで

d) 該形質転換した細胞を、再生培地上で植物に再生する工程を含み、

ここに、工程b)、c)およびd)を同一の容器で行う該方法。

【請求項2】

容器が、バイオリアクター、ペトリ皿、マルチウェルプレート、フラスコ、ジャー、ボトル、ジャグ、PlantCon(商標)、一時出現システム、Sundaeカップおよびそれらの組合せよりなる群から選択される請求項1記載の方法。

【請求項3】

容器が、培地を供給および除去する手段と一緒に提供される請求項1記載の方法。

【請求項4】

外植片がカルス、胚および細胞懸濁液よりなる群から選択される請求項1記載の方法。

【請求項5】

培地が液体培地である請求項1記載の方法。

【請求項6】

選択培地が固体培地であって、再生培地が固体選択培地上にオーバーレイした液体培地である請求項1記載の方法。

【請求項7】

外植片を一時的に培地と接触させる請求項1記載の方法。

【請求項8】

外植片を選択培地および再生培地と12ないし24時間毎に1ないし5分間接触させる請求項7記載の方法。

【請求項9】

カルスをより小さなカルス片に分けることを含むトランスジェニック・トウモロコシ植物を作製するための外植片を得る方法。

【請求項 10】

カルスが I 型カルスである請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

アグロバクテリウム (Agrobacterium) の凍結グリセロールストックを誘導培地に直接的に培養することを含む外植片を接種するためのアグロバクテリウム細胞懸濁液を調製する方法。

【請求項 12】

形質転換可能で胚形成性の細胞を含むトウモロコシ細胞培養物。

【請求項 13】

トウモロコシの形質転換可能で胚形成性の細胞培養物を作製する方法であって、

a) トウモロコシ胚からカルスを得；ついで

b) カルスを液体培地中で 5 ないし 30 日間培養して細胞培養物を作製する

ことを含む該方法。

【請求項 14】

カルスが I 型カルスである請求項 13 記載の方法。

【請求項 15】

工程 c) および d) をマトリクス上で行い、ここに該マトリクスがフェルト、Sorbarod プラグおよびそれらの組合せよりなる群から選択される請求項 1 記載の方法。

【請求項 16】

トランスジェニック植物を作製する方法であって、

a) 再生可能な植物外植片を、選択剤に対する耐性を付与する選択マーカ-遺伝子を含む組換えアグロバクテリウムおよび該選択マーカ-遺伝子で形質転換された外植片の細胞に対して選択的である量の選択剤を含む培地と同時培養し；ついで

b) 該外植片から選択マーカ-を含むトランスジェニック植物を再生する

ことを含む該方法。

【請求項 17】

外植片が未成熟な胚を含む請求項 16 記載の方法。

【請求項 18】

外植片がトウモロコシ植物である請求項 16 記載の方法。

【請求項 19】

培地がアグロバクテリア (Agrobacteria) の増殖を抑制する剤を含む請求項 16 記載の方法。

【請求項 20】

再生可能な植物外植片を組換えアグロバクテリアと同時培養することが、該外植片と該アグロバクテリアを含むスパチュラとを接触させた後に該外植片を培地に入れることを含む請求項 16 記載の方法。